

パビリオンは「自然の叡智を探る旅」がテーマ。色鮮やかな7つの木をあしらった外観が印象的であった。

菩提樹はインド人の自然に対する尊重であり、愛と崇拝の永遠のシンボルだという。

歓迎の象徴であるマリーゴールドの花で飾られたエントランス。

中に入るとインドでこの花が特別であることを紹介している。マリーゴールドに包まれるような展示はとても美しく、印象深かった。

パビリオン内部中央には、ブッダが木陰で悟りを開いたという菩提樹を表現した木が聳え立っている。

内部空間は2層吹抜けの広い空間で、1階の展示スペース、2階のショップ共に煩雑な感じもインドらしさをアピールしているように思えた。

